

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心 協働通心

平成28年度

第1号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

雲間の日差しと雨音がミルフィーユのように交互に織りなされる6月の空、みなさんはいかがおすごしですか？

今年度も「協働通心」では「地域協働合校」の様々な取組を紹介するとともに、これからの「地域協働合校」を皆さんと一緒に考えるきっかけとしていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

さて、今回紹介するのは志津小学校の取組です。今年度から市内全小学校の地域協働合校事業推進組織に地域コーディネーターを設置し、志津小学校でも地域と学校のパイプ役として、御尽力いただいております。

「志津のお宝発見～人・町編」～地域で働く人を訪問しよう～(3年生)

子どもたち

「毎日通学路で、池のような場所の前を通るけど、あれはいつたい何だろう？」

学校の先生

「う～ん、私も見たことがあるけどわからないわ。地域コーディネーターさんなら何か知ってるかも」

地域コーディネーター

確か養殖関係の店だったような…

川魚の養殖加工 40名訪問・見学



地域コーディネーターを中心に何度も足を運び、子どもたちの学習に協力を呼びかけた結果…



バラの栽培・出荷 110名訪問・見学



「(学校の屋上から)あそこに見えるビニルハウスは何だろう？」

「毎年訪問しているカーネーションのビニルハウスとは場所が違うな。地域コーディネーターさんなら何か知ってるかも」

私もわからないけど…

キラッ!

大人が最初から用意した学習素材ではなく、子どもたちの何気ない疑問からスタートして、学校と地域コーディネーターが連携協力し、地域の人々の暮らしを学習に結びつけた「地域協働合校」でした。

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心 協働通心

平成28年度

第2号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

暑さも本格的になり、通勤途上の日陰の涼しさが蝉の声より身に染みる毎日となりましたが、みなさんはいかがおすごしですか？

さて、子どもたちにとって、そんな暑い夏の憩いの時間となるのが、今回紹介する地域協働合校事業、「通学合宿（宿泊体験学習）」です。

通学合宿とは

子どもたち（小学生・中学生）が地域の方の協力を得て、公民館や自治会館などで一定期間寝泊りし、炊事や洗濯を自分の力でいながら学校に通う体験活動です。

～滋賀県教育委員会「やってみよう！通学合宿」より～

平成28年度市内実施予定（実施済含む）

- ・「南っ子宿泊体験 2016」 8月6日（土）～7日（日） 志津南市民センター
- ・「公民館の家 体験合校」 8月7日（日）～8日（月） 草津市民センター
- ・「わくわく王国 2016」 10月22日（土）～23日（日） 老上市民センター、老上小学校
- ・「南笠東通学合宿」 7月14日（木）～16日（土） 南笠東市民センター
- ・「2016 やまだアドベンチャーハウス」 7月23日（土）～24日（日） 山田市民センター他
- ・「ふれんど♡はうす宿泊体験」 7月21日（木）～22日（金） 下笠会館
- ・「ハンター東っ子」 7月30日（土）～31日（日） 笠縫東公民館

南笠東通学合宿



地域ボランティアの方の見守りで無事に市民センターへ到着。



BBSの方々に教えてもらいながら宿題をしました。

ふれんど♡はうす宿泊体験



「えこら」の方々の指導でエコキャンドルを楽しく作りました。



中高生もスタッフとして参加し、地域の方と一緒に活動しました。

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心 協働通心

平成28年度

第3号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

「気がつけば 氷菓の在り処 指す二歳」

みなさんこんにちは。

さて、今回は8月18日（木）に8階大会議室にて開催しました「平成28年度 学校と地域の連携を考える研修会」の内容を中心にお伝えします。

今年度から地域の特性を生かした円滑な学校運営と支援体制づくりを目的とした「コミュニティ・スクールくさつ（学校運営委員会）」が7つの小学校に導入されました。これは学校、家庭、地域が一つになって、子どもたちの豊かな学びと成長を支える地域協働合校の理念と通じるものがあり、相互の連動による効果的な活用を目指して、学校政策推進課と生涯学習課の共同開催という形でこの研修会を実施しました。

講師には、大阪府河内長野市で学校支援コーディネーターを務める傍ら、文部科学省コミュニティ・スクール推進員として各地域へ指導助言されている 大谷 裕美子 氏をお招きし、「地域とともにある学校づくり」というテーマで御講演いただきました。

講演後の分散会では、学校運営委員を務める地域の方々や地域コーディネーター、学校関係者が6つのグループに分かれ、空調も追いつかないほどの熱気で議論が展開され、時間が経つのを忘れるほどでした。



【講演の様子】



【分散会の様子】

キラッ!

(先生の講演内容から)

その地域だからこそ、学校支援という形で子どもたちのために楽しみながらできることがきっとあるはずです。コミュニティ・スクールを通じて学校、家庭、地域が十分に話し合って意識やビジョンを共有し、つながる仕掛けづくりをしてみませんか。